

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

浜松市障がい者自立支援協議会 西エリア連絡会

第2回全体会 会議録

- 1 開催日時 令和7年10月1日(水)午前10時00分から午前11時55分
- 2 開催場所 雄踏文化センター 3階 大会議室
- 3 出席状況 ※敬称略

構成員 相談支援事業所まで
四季の郷
みなみ
浜松手をつなぐ育成会
好生会三方原病院
浜松市社会福祉協議会西地区センター
中央区西民生・児童委員協議会
県立浜名特別支援学校
放課後等デイサービスあゆみ
地域包括支援センター雄踏

事務局 浜松市西障がい者相談支援センター

浜松市中央福祉事業所社会福祉課西社会福祉G

オブザーバー 浜松市障がい者基幹相談支援センター

<日中サービス支援型GH>

ソーシャルインクルーホーム浜松馬郡

ソーシャルインクルーホーム浜松雄踏町

ソーシャルインクルーホーム

- 4 傍聴者 10人
- 5 議事内容
 - 1 開会
 - 2 中央福祉事業所社会福祉課専門監挨拶
 - 3 報告事項

- (1) 市自立支援協議会報告
- (2) 西エリア連絡会活動について
- (3) 質疑応答、意見交換
- 4 日中サービス支援型 GH 意見交換会
- 5 その他、次回開催予定等

6 会議録作成者 浜松市中央福祉事業所社会福祉課西社会福祉グループ

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・無

8 会議記録

1	開 会	司会：浜松市西障がい者相談支援センター
3	報告事項	
	(1) 市自立支援協議会報告	資料に基づき説明
	(2) 西エリア連絡会活動について	資料に基づき説明
	(3) 質疑応答、意見交換	
	<p><質疑応答・構成員からの主な意見></p> <p>○浜松手をつなぐ育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イキイキ生活部会について、当事者の話を聞くのは現実味があって参考になる。「イキイキ」の定義が難しいが当事者の話の中で心配ごとや不安感も聞ける。それに対して私達に何ができるのか。協議会から、制度の面でも当事者の将来に向け、変わっていくといいなと思う。こども部会にも参加しているが、前回のような研修会を何回もやってほしいとの意見が出ていた。 ・就労選択支援事業について、当事者にはどういった説明をしているのか。→例えば、浜名特別支援学校では、学校から話をもらって、湖西市と浜松市の担当者が面談に同席し、事業について流れなどを説明している。まずは就労B型を10月以降新規利用する方が対象となってくる。 ・就学卒業後の進路についてどういった話・課題が出たのか。→学校に聞いても情報がなかなか得られなかったり、選択肢もいろいろ増えてきて追いきれない、進路先に行ったその先にどうなるのかの情報もなかなか得られないなど。 ・イキイキ生活部会について、今年度どのくらいまで話が進んだらいいと考えているのか。→コア会議の中での話では、あと2、3回は当事者に話を伺いたいと考えている。今年度中にある程度課題を絞っていききたい。それがワーキ 	

ングとなるのかはわからない。

○みなみ

・GH 交流会に参加したが、地域連携推進会議については、ちょうど私達が知りたかった内容だった。

○四季の郷

・各部会とも、積極的に話をしているいい部会となっている。ネットワーク会議の意見交換では時間が足りなくなるほどだった。他法人の方と異なる視点、いろいろな課題を持って話し合いでき、参加者にとってもよかった。参加される方によって視点が違うため、また機会があれば他の職員が参加するのもいいと思う。

○相談支援事業所まで

・西センターで共同支援会議自体、なにか開催しているのか、どこか事業所へ問いかけているのかを聞きたい。

→外国人の方のコミュニケーションについて難しい問題だと考えている。全市的な問題となるので何を取り上げていくか考えている。計画相談へは、こういうふうと考えている、くらいに打診している状況。

・計画相談から取り上げてほしいなどの相談はあるのか。

→外国人の方がコミュニケーション面で理解できないのは知的障害にも通じる問題。相談支援事業所も外国人だと難しいと断られることもあるが、相談員さんが AI を使って頑張ってくれているところもある。西センターでアセスメントや区分調査と一緒に入るなどしている。そこまで入るとやっていただける事業所もある。初めのアセスメントからやっていただける事業所が増えるといいなと考えている。

○地域包括支援センター雄踏

・部会も何回も開催され、大変だろうと思う。「イキイキ」の定義をまとめたことが興味深く、それ自体に話し合いの場を持ったことが今後の活動に生きてくると思う。

4 日中サービス支援型 GH 意見交換会

<主な報告内容>

・SIH 浜松雄踏町へ 9 月 9 日に、SIH 馬郡へ 9 月 8 日に見学会開催

GH 管理者から資料に基づき説明

【ソーシャルインクルーホーム浜松馬郡】

<質疑応答・構成員からの主な意見>

○浜松手をつなぐ育成会

・最高齢は何歳で、一番若い方は何歳か。

→一週間前に入居した方で 70 歳の女性。若い方は 19 歳で半月ほど前に入居。

○みなみ

- ・在宅医療について、発熱などで受診が難しいときに呼ぶのか。
→そういう場合もある。何かあれば来てくれている。以前だとコロナなど。
- 地域包括支援センター雄踏
 - ・浜松歯科はどういうふうに GH へ入るのか。
→個人で浜松歯科と契約している人は現在 7 人いる。毎週火曜日に来てくれている。同じ先生が毎週来てくれて対応もわかっている。
- 四季の郷
 - ・日中活動の利用について、入居の時には既に利用する方向になっている方が多いのか、入居してから次のステップで利用する方が多いのか。また、その際相談にのるのは GH が主なのか、それとも計画なのか。
→通所に関しては最初に決まっている方は少ない。就労 B 型については初めに決まっていることが多い。通所は入居に慣れてきてから相談員も含めて話し合っ決めていく。サビ管が動いて見学同行したりしている。
 - ・まずは住まいの場で安心・安定してからの検討か。
→馬郡は精神障害の方が多く、調子がガクッと落ちないように、入所の段階ではトラブルが起きないように安定してから検討している。
 - ・自転車で通所している方が多いが近場への通所なのか。
→徒歩だと一般の方で 15 分だが、悪戦苦闘しながら 20～30 分かけて行く。自転車だと 5 分で着く。
- 西障がい者相談支援センター
 - ・生活の質についてだが、日中活動が難しい、地域との関わりが難しいという課題があるが、もう少しこうなるといいなのイメージはあるのか。イキイキにもつながる部分だが今はイキイキ暮らしているのか。
→日中支援型 GH で通所に出ることがいいことなのかはわからないが、入居者は「現状のままで」という意見が常にあったが、通所に行けた方を見て、自分も、と見学に行くこともできた。社会性の中で、いろいろな場所でいろいろな人の顔を見れることはいいこと。
入居者で「墓参りに行きたい」という 60 代の方がいるが、障害も強い方で、墓の場所もわからない。同行の範囲もどこまでいけるのか、など色々含めて力になれるといいな、とは考えている。
 - ・計画相談からみて GH に期待することは？
→相談支援事業所まで
 - ：期待しかない。ご家族が高齢だったりすると当人の住まいをどうしていくかが目の前の課題になっている。GH の需要はこれからも高まっていく。緊急時の受け入れや SS 予約者の兼ね合いもあり難しい。職員の質の向上については、事例検討や交流会もある中で、他事業所との関わりも持てたが、この研修一緒にやってみたいね、などの話は出ているのか。
 - ソーシャルインクルーホーム浜松馬郡
 - ：他法人と意見交換はまだうまくいっていないが、以前事例検討会の中でみなさんの意見をいただいて、出席した支援員がすごく喜んでい

た。他法人との触れ合いの場も多くなっていくと視点も多くなる。GH見学会も、見学後 GH 内で話をするとスタッフが興味を持って、行きたいという声もある。機会がより多くなれば、他スタッフが参加できる割合も多くなる。

【ソーシャルインクルーホーム浜松雄踏町】

< 質疑応答・構成員からの主な意見 >

○西障がい者相談支援センター

・ソーシャルインクルーホーム浜松雄踏町の課題は。

→重度の方が多いので日々様子は異なる。どうしたら利用者が落ち着いた生活ができるのか、日々苦悩している。今までできていたことができなくなったりするので、まずは生活リズムを整えることから行っている。移動支援を導入して朝起きて、散歩して、のリズムとしている。

○好生会三方原病院

・障害者雇用のスタッフに掃除してもらっているが、定着までの道のり、サポートはどのようにしているのか。

→まずは毎日通うところから。通ってあいさつして、からスタート。初めはジョブコーチもついていて、本人に教えてくれて、スタッフへ引き継いだ。強く言っても理解ができるとは限らない、一緒に作業することで覚えていってもらった。

○放課後等デイサービスあゆみ

・児童を対象としているので、こどもたちの何年後の話かなと思いつながら聞いていた。親御さんにも本人にも、情報提供して将来について安心できるようにしていきたい。

○県立浜名特別支援学校

・強度行動障害の方も受け入れてくれてありがたい。

→ソーシャルインクルーホーム浜松雄踏町

：強度行動障害の方は現在 8 人いて他害もある。今年の 2 月に入所の方は、職員がムチウチになったりもした。今は本当に落ち着いて生活できている。入所当初は座ることもできなかったが、食事も座って自分でとれるようになり、通所もできている。その後、入所した 18 歳の区分 3 の方は特別支援学校出たばかり。殴る蹴るがある方。どう通所に出してあげられるかを考えているところ。

○浜松市社会福祉協議会西地区センター

・SIH 馬郡も雄踏も、それぞれ地域とのつながりがあると思うが、SIH だけでなく他の福祉法人から地域とのつながりについて社協が相談を受けることがある。求めているつながりは、顔合わせなのか、一緒にやっていくのか、参加していくのか、どの程度なのか。現在の状態から、また一歩踏み出してもらえるといいなと考えている。

○中央区西民生・児童委員協議会

・雄踏は民生委員が活発に活動している。和地地区は場所によって温度差がある。団地は盛り上がっているが、その周りは高齢者も多く、落

ち着いた感じ。地域全体をみたときに、障害者にどう関わっていけば
いいかが今後の課題。

閉 会 浜松市西障がい者相談支援センター

以上